

移動式の浄水器

災害時に活用

豊川の土岐が開発「ライフカート」発売

水道などの設備の設計製作「土岐」(豊川市市田町)は、移動式浄水器「ライフカート」を開発、発売した。災害時に活用でき、井戸、河川、プール、防火水槽などの水を1日で約5700リットル、飲料水にできる。

高さ90センチ、幅60センチ、奥行き50センチのカート式で、女性や高齢者がでも「キ

大容量バッテリーを搭載しており、フル充電で約25時間使える。太陽光

「ライフカート」のように簡単に移動できる。ポンプで水をくみ上げ、五つのフィルターできれいにする。透析や手術に使えるレベルまで浄水する。ホースはケース内に入っており、使用時につなげる。

発電装置も付属しており、停電時でも使用できる。さらにバッテリーの安全性を考慮し、一般的な「リチウムイオン電池」に比べ、発火するリスクが非常に低い「リン酸鉄バッテリー」を搭載した。防水防塵で丈夫なうえ操

作も簡単だ。土岐新也社長は「災害時に最も必要なものは飲料水。備蓄しているペットボトルだけでは不足する事態が想定されます。場所をとらないので、防災備品と一緒に置いてほしい」と話す。

110万円(税別)。別売りで海水を飲料水にできるキット(税別150万円)がある。問い合わせは土岐(0533・955588)へ。

【竹下貴信】



災害時に活用できる持ち運びが便利な浄水器「ライフカート」=土岐で



使い方のイメージ